

# 令和6年度龍郷町子ども博物学士 開講式 第1回講座「奄美の龍を描こう！～どんな龍が現れるかな？～」



今年度の龍郷町子ども博物学士講座の開講式をりゅうがく館にて5月18日（土）に開催しました。開講式では、赤徳小5年の岩崎 碧さんが、昨年度までの研究内容の「奄美の海を守る」について発表をしてくれました。

引き続き行われた第1回講座では、画家・絵本作家のミロコマチコさんを講師にお招きし「奄美の龍を描こう！～どんな龍が現れるかな？～」と題した講座を行いました。ミロコマチコさんからは「龍郷には龍がいると言われている。みんなのエネルギーを龍にしよう。」との説明がありました。会場は壁や床をシートで覆い、シートの上に様々な形や大きさのケント紙を配置し、はじめに油性ペンを使って自分の好きなものや動植物を自由に描き、次に絵の具を染み込ませたスポンジと指・爪・足を使って色を塗り、それぞれが描いた絵をつなぎ合わせ、ミロコマチコさんが用意した龍のツノやツメなどをセットして大きな龍が現れました。最後は魔法の水が入ったペットボトルを配り、ペットボトルを振るとカラフルな水に変化し、龍に魔法の雨を降らせて完成となりました。

講座に参加した円小学校2年の青木 友李さんは「体の全部を使って絵を描いてもいいと知った」と感想を述べました。

次回の子ども博物学士講座は6月15日（土）に奄美市住用町にて、世界自然遺産とモダマについて行う予定です。たくさんの方の参加をお待ちしております。 講座参加者：141名（児童・生徒88名 保護者46名 未就学7名）